

段ボールコンポスト 講習会

つくば市環境衛生課

段ボールコンポストの使い方

- 家庭で手軽にごみの減量に挑戦 -

講習会の流れ

1. 配布物の紹介（段ボールコンポスト）
2. 段ボールコンポストの基本事項
3. におい・虫対策
4. 質疑応答

1. 配布物

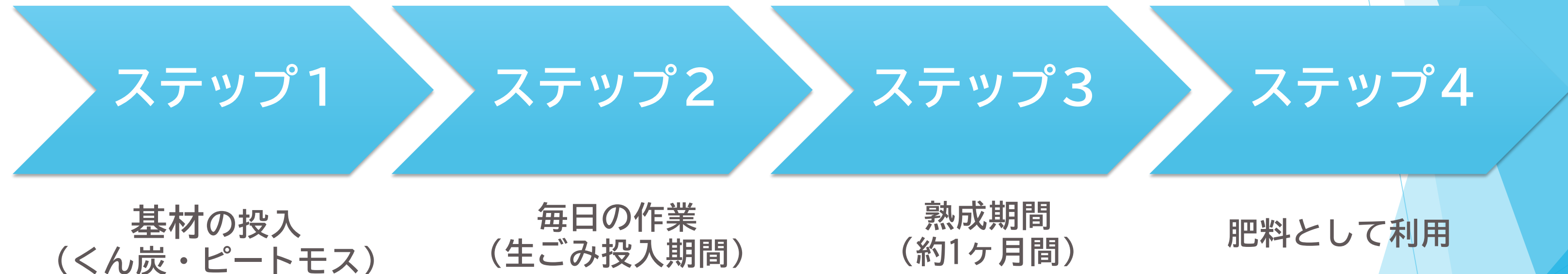
- ・ 段ボールコンポスト（ふた・本体・底）
- ・ 基材（くん炭・ピートモス）

○網目状の台の上など通気性を確保。
○ベランダや軒先など雨が直接掛らない場所に配置。
○隙間から虫が混入しないようにガムテープで段ボールを
目張り補強。



2. 段ボールコンポストの基本事項

4つの基本ステップ



この4つのステップで生ごみが堆肥に変わります！

■ ステップ1

段ボールコンポストの準備
基材（くん炭・ピートモス）を投入する

✓ポイント1

最初は基材を半分だけ入れ、
残りは後から追加していく。

✓ポイント2

生ごみの量の増加に合わせて
残りの基材を徐々に足していく。

✓なぜ半分ずつ？

- ・微生物の活動スペースを確保するため
- ・水分バランスを調整しやすくするため



写真：段ボールコンポスト普及会提供

■ ステップ2

生ごみ投入期間（約3か月）
毎日の作業

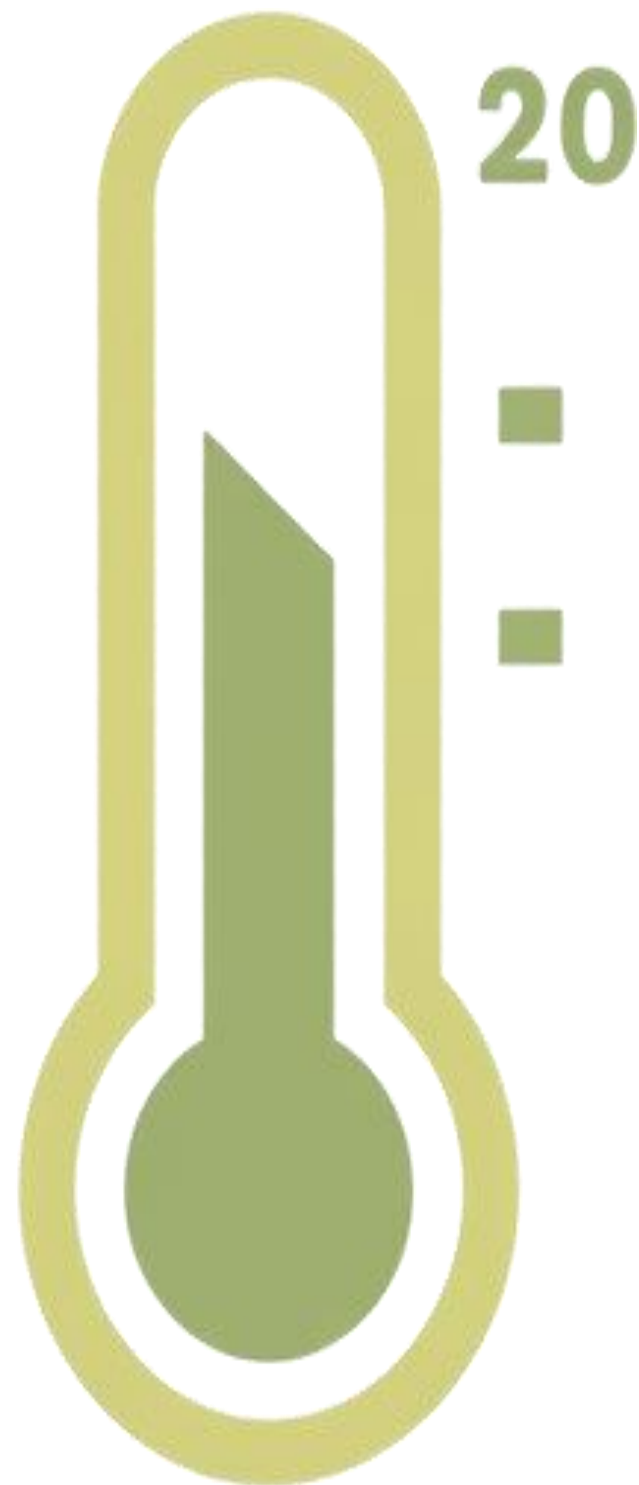
- 01 真ん中をくぼませる
- 02 生ごみを投入する（300～500 g）
- 03 基材を軽くまぶすように混ぜる
- 04 基材をかぶせて生ごみを隠す
- 05 翌日は前日分に空気を送り込む
- 06 約1ヶ月後に全体をかき混ぜる

※最初は、量は少なめ・細かく
（微生物の動きが活発になるまで）

毎日繰り返し行う
（01-05）

■ 温度管理のポイント

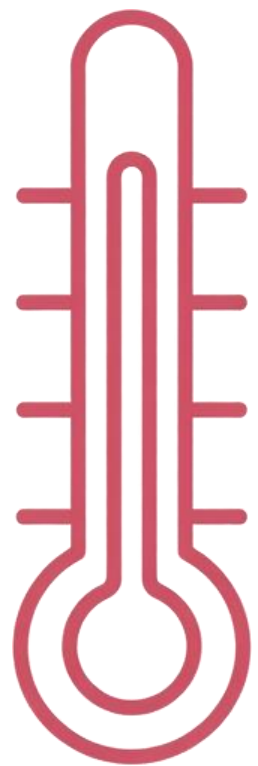
温度で微生物の働きを確認



- ・ 温度計を基材の真ん中に差し込み中心部を測定
- ・ 適正温度は40～60度
(微生物の動きが活発な分解の目安)
- ・ 温度が上がらないときは？
 - ①毛布をかけたり、温かい場所に移動する。
 - ②米ぬかや魚のあら、廃食油を追加する。
※生魚・肉類などの動物性の生ごみの投入量が多いと臭いが強くなります。

■ 生ごみ投入の止め時（熟成期間への移行のタイミング）

生ごみの投入終了の目安



- ✓ 約50kgの生ごみの投入
- ✓ かき混ぜると重たく感じる
- ✓ べたべたした感触
- ✓ 油などを入れても温度が上がらない

■ ステップ3

生ごみ投入後の仕上げ 約1ヶ月の熟成

✓ 熟成のポイント

水分量を適切に保つ（必要に応じて水を足す）
2～3日に1回かき混ぜる

✓ 注意点

湿度50～60%を維持することが重要
乾燥しすぎると微生物の活動が低下
水分が多すぎると嫌気性発酵でにおいの原因に

✓ 完成の目安

サラサラとした土のような状態になれば完成
野菜くずなどの形がほぼ見えなくなる

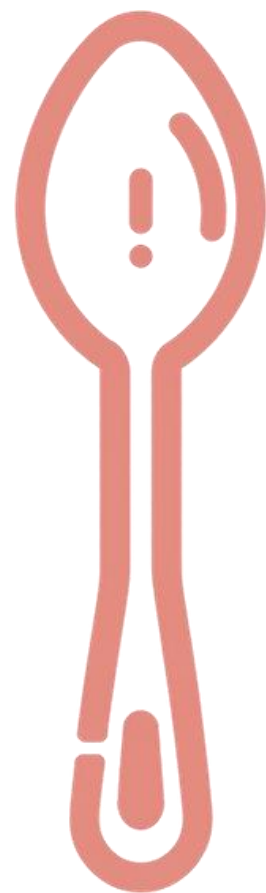


写真：段ボールコンポスト普及会提供

■ 段ボールコンポストを成功させるための重要ポイント



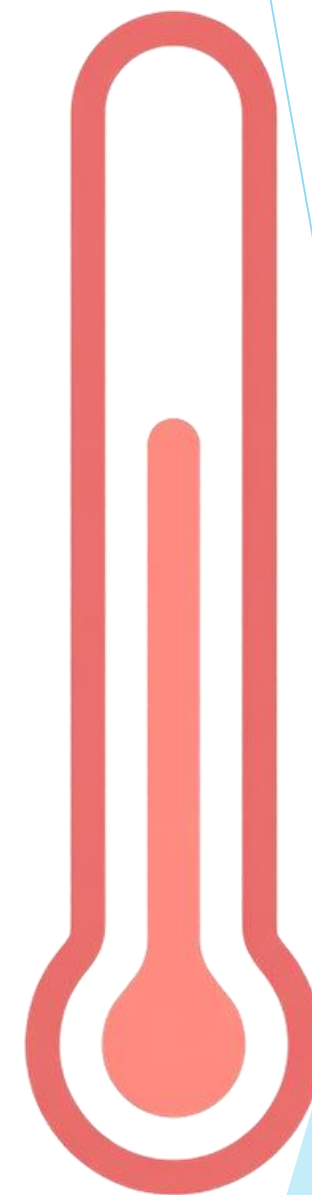
水分バランス
50～60%を維持



混ぜすぎ注意
最初は全体を混ぜない



冬季の保温
毛布や温かい場所へ



温度が上がらない時
ぬか・廃食油を追加

つくば市配布の段ボールコンポストの使用例

2022.10.1～2023.3.31 6ヶ月間使用 基材5400g

コンポスト中の最高温度30℃



基材 5400g



2022.10.1 開始



2022.12.31 3ヶ月目



2023.1.31 4ヶ月目



2023.3.3 5ヶ月目

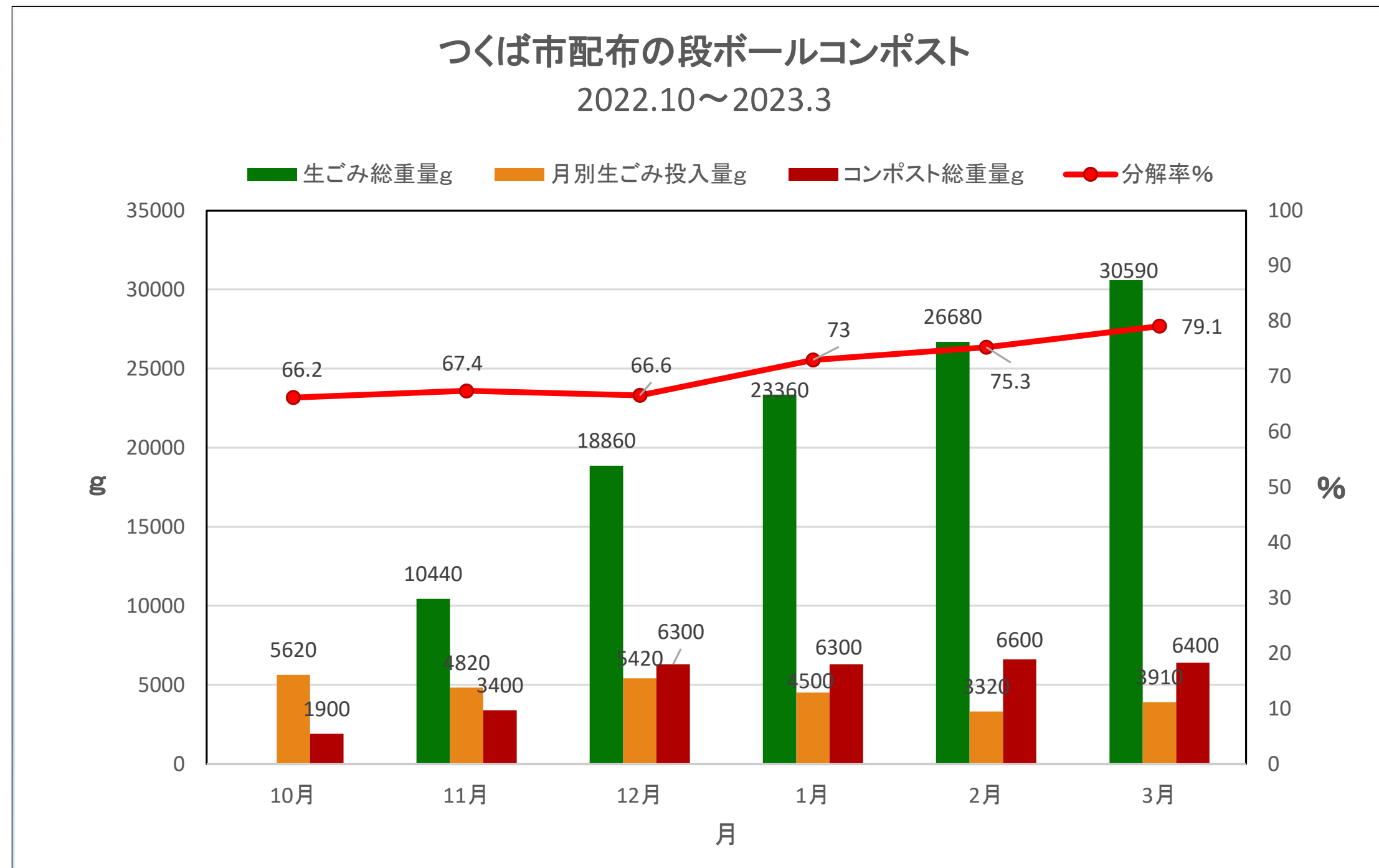


2023.3.31 6ヶ月目

分解率 (%) = (投入した生ゴミ総重量g - コンポスト総重量g) / 投入した生ごみ総重量g × 100

実施者：段ボールコンポスト普及会

研究の結果：



1. 配布の基材は木質系・ピートモス系で風袋がもみ殻に比し2倍重い。
2. コンポスト内の平均温度は15℃で、もみ殻の42℃に比して低い。
3. 箱内温度上昇は低い但最终分解率は約80%ともみ殻とほぼ同じ。
4. 虫の発生はもみ殻くん炭と同様、幼虫・コバエが発生した。

■ ステップ4

作成した堆肥を肥料として活用

【鉢植え】 「作成した堆肥：土」を「1：4」で使用

【畑】 適量を土に混ぜ込んで使用



写真：段ボールコンポスト普及会提供

2. におい・虫対策

■ におい対策

✓原因

- ・ 生ごみの分解が追いついていない。
- ・ 生ごみの水分量が多く生ごみが腐っている。

✓対策

- ・ 生ごみを投入するのを一時的にやめ、廃食用油を入れる。
→微生物の動きが活発になり、分解が進み、においが解消される。

虫対策

✓原因

- ・段ボールの隙間や、ふたを開けている時に基材に入り込んでいる。
- ・投入した生ごみに卵を産みつけて、容器の中で増える。

✓事前対策

- ・投入する生ごみをタッパー容器などに保管して、虫に卵を産ませないようにする。
- ・ふたを開けている時間は、なるべく短くする。
- ・使用するスコップは段ボールコンポスト専用にする。
- ・通気性の良い布などを虫除けキャップとしてかける。

✓虫の発生時の対処法 **※殺虫剤厳禁！！！！**

- ・におい対策と同じで、生ごみを入れるのを一時的にやめたり、廃食油を入れて微生物の動きを活発にする。
- ・ビニール袋に基材を全て入れ、袋の空気を抜き天日干し。